

令和5年2月14日
総合政策局公共事業企画調整課

革新的建設機械(仮称)の認定制度について検討分科会を開催します。

～ 電動建機の普及により建設現場もGXを推進～

国土交通省では、建設施工分野のGX(グリーントランスフォーメーション)を推進するため、電動・水素・バイオ等を新たな動力源とする革新的建設機械(仮称)について、市場への導入や普及を促進するため、認定制度の創設を検討しています。

このたび、令和5年2月16日に「令和4年度 建設施工の地球温暖化対策検討分科会」を下記のとおり開催し、革新的建設機械(仮称)の認定制度について検討を行います。

1. 会議名称：令和4年度 建設施工の地球温暖化対策検討分科会
2. 日 時：令和5年2月16日(木) 15:00～17:00
3. 会議形式：対面及びWEBシステム併用
4. 主な議事：
 - ・建設機械に関する最近の動向
 - ・革新的建設機械(仮称)の認定制度について 等
5. 委 員：別紙のとおり

本会議は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、WEB上での傍聴とさせていただきます。なお、通信状況によって、映像の乱れや一時的な停止が発生する可能性があることをあらかじめご了承ください。

WEB傍聴を希望される方は、2月15日(水)17:00までに以下のアドレス宛にメールをください。期限までにご連絡いただいた方にWEB会議のURLをお送りします。

件名：【WEB傍聴希望】令和4年度 建設施工の地球温暖化対策検討分科会

本文：氏名(ふりがな)、所属、連絡先(住所、電話番号、メールアドレス)

送付先：hqt-kensetukikaigxb.mlit.go.jp (kensetukikaiの後に@を入れて下さい)

通信設備の都合により、傍聴人数を制限させていただく場合があります。

配布資料等については、分科会后、国土交通省ホームページにて公開する予定です。

(参考)過去の分科会の資料については、以下URLをご参照ください。

建設施工の地球温暖化対策検討分科会

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/constplan/sosei_constplan_tk_000008.html

<問い合わせ先>

国土交通省 総合政策局公共事業企画調整課 須山、守田

代表：03-5253-8111(24514,24554) 直通：03-5253-8271

令和4年度 建設施工の地球温暖化対策検討分科会
委員名簿

分科会長	塩路 昌宏	京都大学 名誉教授
委員	深川 良一	立命館大学 理工学部 特命教授
"	草鹿 仁	早稲田大学 創造理工学部 教授
"	大杉 達三	(一社)日本建設機械施工協会 製造業部会 部会長
"	洗 光範	(一社)日本建設機械施工協会 建設業部会 部会長
"	清水 英紀	(一社)日本機械土工協会 常務理事
"	小椋 直樹	(一社)日本建設機械レンタル協会 専務理事
"	山口 崇	(国研)土木研究所 技術推進本部 先端技術チーム 上席研究員

オブザーバー	川内 拓行	経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐
"	渡邊 賢一	環境省 水・大気環境局 自動車環境対策課 課長補佐
行政側参加者	吉田 真人	大臣官房 技術調査課 課長補佐
"	三國谷 隆伸	大臣官房 技術調査課 建設技術調整室 課長補佐
"	柳井 和則	総合政策局 環境政策課 課長補佐
"	岩崎 福久	総合政策局 公共事業企画調整課長

「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」との目標の実現に向けて、国内産業部門におけるCO2排出量の1.4%を占める建設機械について、従前は燃費性能の向上による省CO2化を進めてきたところであるが、抜本的な機構・システムの見直しが必要。

そのため、建設現場におけるカーボンニュートラルの実現に向け、動力源を抜本的に見直した革新的な建設機械(電動、水素、バイオマス等)の導入・普及支援策を講じる。

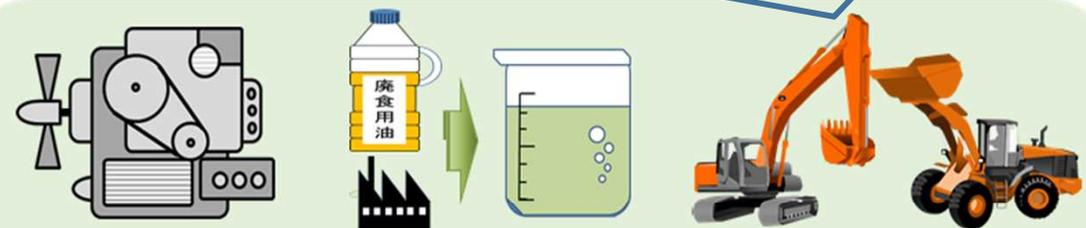
動力源を抜本的に見直した革新的な建設機械の認定制度創設を検討。



バッテリー式電動小型油圧ショベルの例(出典: (左)コマツHP、(右)竹内製作所HP)



【軽油を燃料とした動力源】



水素エンジン等

バイオマス燃料/合成燃料等

E/FC 建設機械

【新たな動力源 (イメージ)】